



消費生活で
困ったときは

消費生活センターに 悩みをお聞かせください

〒消費生活センター(市役所1階)
☎ 63-1173

あなたもトラブルに巻き込まれていませんか

消費生活センターでは商品やサービスについての相談や苦情を受け付けています。また、消費生活上の一般的な知識のお問い合わせにも応じています。

昨年度、当センターには訪問販売、電話勧誘や多重債務など600件を超える相談が寄せられました。最近では高齢者だけでなく、若い世代からの相談も増え、インターネット、出会い系サイト、ゲームの高額課金などの相談が寄せられています。消費者をめぐる悪質商法の手口は年々多様化・巧妙化しています。一人一人が消費生活に関する知識を身に付けることは大切です。しかし、トラブルに巻き込まれたと感じたら、一人で悩まずに、すぐにご相談ください。



こんなケースに巻き込まれたらすぐに消費生活センターに相談を

case1 通信販売

「あなたが注文した健康食品を代金引換えで送ります」と、業者から電話があった。「頼んだ覚えはないので、いらぬ」と、断ったが、「申し込みの記録がある」と、強い口調で言われ、一方的に電話を切られてしまった。



case2 架空請求

パソコンなどでサイトを検索し、何気なくクリックしたら、いきなり「登録料5万円を3日以内に振り込んでください」という画面が出てきた。しかも、パソコンからその画面から消えなくなった。



case3 点検販売

無料で家の点検に来た業者から「地震が来たら家が壊れてしまう」と、工事を勧められ、さまざまな住宅リフォームの契約をさせられた。



case4 未公開株・社債

値上がりすると勧められ、未公開株を購入した。しかし、2年前から業者と連絡が取れなくなった。最近では「被害を回復しないか」と、別の業者から勧誘がある。



出前講座をご活用ください

悪質商法や契約トラブルを未然に防ぐため、勉強会をしませんか。講師が無料でお伺いします。地域の集まり、老人会やPTAなど10人以上のグループでお申し込みください。



特別会計予算

国民健康保険特別会計

92億9,666万円(前年比10.0%増)

単年度収支の赤字が長く続き、平成24年度は繰上充用で収支を整えました。平成25年度は医療費の一時的な減などにより、6,600万円ほどの赤字となりましたが、予断を許さない状況です。

健康への意識づけや特定健診受診率向上に取り組み、医療費の適正化に努めます。

介護保険特別会計

60億1,566万円(前年比0.9%増)

高齢化に伴う要介護認定者の増加により、介護保険料を引き上げました。

介護保険制度の運営を効果的に推進するため、介護給付の適正化に力を入れていきます。また、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるように地域支援事業の充実に努めます。

後期高齢者医療特別会計

7億3,841万円(前年比0.5%増)

平成25年度の本市の一人当たりの医療費は県下で3番目に高い状況で、医療費適正化は大きな課題です。

健康診査や重複・頻回受診者への訪問指導などを通して、医療費抑制に取り組み、医療費が過度に増大しないよう努めます。

企業会計予算

下水道事業

収益的収支予算

総収益 13億4,888万円
総費用 12億4,622万円
利益 1億266万円

市民の健康で快適な生活環境の保全をはじめ、公共共用水域の水質汚濁防止など、豊かな自然環境を守り、育めるよう努めます。

処理人口普及率は平成25年度末で69.4%です。今後は牛水・平山地区を中心に管渠布設工事の面整備と各処理場施設の改築更新を行います。

水道事業

収益的収支予算

総収益 10億6,693万円
総費用 9億7,446万円
利益 9,247万円

昨年度、長年の課題だった荒尾市と大牟田市の「水道一元化」を実施しました。今後は官民連携による包括委託に取り組み、市民へ最良のサービスができるよう努めます。

本年は水道一元化に伴う配水管布設工事・給水管切替工事、老朽管や施設の更新工事を行います。

病院事業

収益的収支予算

総収益 62億5,878万円
総費用 59億4,877万円
利益 3億1,001万円

近年の経営状況は5年連続で増収増益を達成するなど着実に改善しています。

今後も「荒尾市民病院あり方検討会」の提言書に基づき、病院の健全経営に努め、安全で質の高い医療を提供します。

※1万円未満切り捨て